



いかに“職場の空気”を快適にできるか。

有限会社岡西鉄工所(愛知県一宮市)

半世紀以上にわたり培ってきた旋盤加工技術を活かし、特に「長尺シャフト」や「大径ローラー」を得意とする有限会社岡西鉄工所。次世代のために環境整備を進める岡西猛社長にお話を伺いました。



世界三大毛織物産地の一つにも数えられる尾州^{びしゅう}。その中心地である愛知県一宮市で55年、岡西鉄工所は繊維機械の製造に携わってきました。「繊維工場の海外移転などもあり、織機^{オリ}関連の仕事は減ってしまいましたが、そこで培われた技術が今も私どもの基盤になっています。特に、5千ミリまでの長尺、6百ミリまでの大径の旋盤加工が可能なため、様々な地域、業界のお客さまから「このようなのものはつくれないか」と、お問い合わせをいただいています」

鉄、アルミ、ステンレス、鋳物、真鍮、銅、難削材などの素材にバイト(刃物)を押し付け、目標とする長さや形状に削り落とす汎用旋盤^{はんようせんぱん}は、熟練工の手と目と勘^{かん}によって品質に違いが生じるのですが、岡西鉄工所には「他社がやりたがらない製品」の依頼が後を断たないといえます。「亡くなった先代が「旋盤をかけさせたら一宮で右に出る者はいない」といわれた人で、私や古参の職人は相当厳しく鍛えられました。それで依頼

がある、ただ「お客さまから言われた通り」にするのではなく、素材や形状などから判断して「もっとこうしたほうが良い」と提案しながら、お客さまと一体となつてつくり上げていく姿勢が当たり前だったのです。それが積み重なって、いつしか多くのお客さまの間で「一品ものや、手強い仕事は岡西へ」という流れができたのだと思います」

しかしそのような難仕事を中心では「現状維持が精一杯だ」と考え、工場の拡張やコンピュータ制御の自動工作機の導入に踏み切りました。「私の代で終わりにするのであれば何もしなかつたのですが、約10年前、大手プラントメーカーで図面を描いていた息子(現取締役)が後を継ぐために戻ってきて、将来を見据えた提案を次々に打ち出してきたのです。正直、不安も大きかつたのですが、とにかく背中を押してやろうと。結果、飛躍的に生産性が向上し、新しいお客さまとの縁にも恵まれたのですから大正解でした」

しかし事業規模の拡大に伴い、徐々に人材不足の問題が顕在化してきたといえます。「私どもは様々な機械を用品ですが、仕事は「機械がするもの」ではなく、この工程にはどのような意味があるのかを学びながら「自分がするもの」です。当社のような町工場に、機械を動か

かあるとすぐに電話があるようです(笑)。私も妻も、息子夫婦も、彼らのことを家族のように感じていますし、ごく自然な感情として「困っていることがあればなんとかしてあげたい」と思わせてくれるスタッフなのです」

当初、日本人の採用のためにはじめた健康経営の取り組みも役立っているといえます。「健康診断の結果が悪いと、再検査を受けさせに病院へ手を引つ張っていくのですが、それもいいコミュニケーションです。それから昨年、大同生命の「ウォーキングキャンペーン」に参加したのですが、日本人もベトナム人も関係なく、あちこちで「今日、何キロ歩いた」といった会話が生まれて、社内の風通しが一段と良くなりました。それに倣って、今度は当社独自で何か健康イベントをしてみようかと考えています」


今、改めて「従業員のコミュニケーションの大切さ」を痛感しているという岡西社長。「例えば、上司や先輩の顔をうかがって、先に帰ると言い出せない、有給休暇を取れないといった職場の空気は不健康だと思います。皆が気兼ねなく声を掛け合い、仕事とプライベートを両立できる健全な環境を用意してあげたい。気持ち良く働く人間が増えることが、生産性を高める一番の方法だと思います」

「すつかりお姉さん」と頼られて、夜中に「歯が痛い」とか、休日に「子どもの入園手続きが分からない」とか、何

かすだけの人々を雇う余裕はありません。『自分がやる』という熱意や大概のある人材を求めたのですが、この時代に難しいですね。そこで通常の求人活動以外に、ベトナム人の技能実習生を受け入れることにしました」

■中小企業経営の現状分析に「大同生命サーベイ」をお役立てください！■
大同生命に所属する全国約3,700名の営業職員は、日々様々な業種・業態の中小企業経営者と触れ合っています。そこで見聞きするのは現場のリアルな声であり時代の生の声です。そのような声を共有し、経営の参考にさせていただこうと開始した調査が「大同生命サーベイ」です。

■各月の「個別テーマ」と定例の「景況感調査」を公開しています！
調査結果は月次レポートとしてプレスリリースを発表し、Webサイト上にも公開。従業員数20名以下の企業を対象とした統計は貴重であることから、各所からご好評をいただいております。どなたでもパソコンやスマートフォンの当社Webサイトからご覧いただけますので、どうぞご利用ください。
<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>




岡西猛社長(写真左)と取締役の哲(さとし)さん。

大同生命サーベイ2022年7月度調査「健康経営」にご回答いただいた企業の中から、健康経営に取り組まれている企業さまにインタビューしました！

企業 DATA

所在地	愛知県一宮市島村字花ノ木 37
代表者	代表取締役 岡西猛
創業	1967年(昭和42年)
設立	2005年(平成17年)
事業内容	長尺、大型の旋盤加工、横中グリ加工、マシニング加工、一般製缶加工、機械オーバーホール、レースパーツ製作
Webサイト	https://okanishi-ironworks.com/

*1:愛知県一宮市、津島市、稲沢市、江南市、岐阜県羽島市などを含む地域。イギリスのハダースフィールド、イタリアのピエラと並び「世界三大毛織物産地」と称される。
*2:回転させた素材にバイト(刃物状の切削工具)を押しあて、不要な部分を削り取る工作機械。一般的に、単に旋盤という場合は汎用旋盤(普通旋盤ともいう)を指す。